ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

ボーリングNO.

シートNO.

ボーリング名	B-2	調査位置				北　緯	36 ° 19 ' 54.0000 "
発注機関	栃木県栃木土木事務所			調査期間	2007-02-22 ～ 2007-02-22	東　経	139 ° 49 ' 23.0000 "
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	42.40 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0.00 °	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南 .00 °	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 0.00 °	使用機種	試錐機	ハンマー落下用具	
総掘進長	9.45 m								エンジン	ポンプ	

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
	41.90	0.50	0.50		盛土 (BS)	暗褐			径40～150mmの角礫が混入するシルト。木片や焼却灰が混入。		
1	41.00	0.90	1.40		ローム (Lm)	暗茶褐		中位	腐植物が混入する。含水量は中程度～多い。		
2	40.35	0.65	2.05		軽石 (Pm)	黄褐			径2～5mmが主体。含水量は多い。		
3	38.80	1.55	3.60		ローム (Lm)	茶褐		非常に軟らかい	腐植物が混入する。含水量は多く、粘性は強い。下部は粘土化している。		02/22 2.55
4	37.45	1.35	4.95		粘土混り砂 (S-C)	茶褐	緩い		細砂～中砂が主体。凝灰質粘土が多く混入している。含水量は中程度～多い。		
5	36.65	0.80	5.75		凝灰質粘土	淡茶褐			腐植物が混入。含水・粘性大。少量の砂が混入する。		
6	35.05	1.60	7.35		粘土 (CH)	灰白			所々、径20mm程度の風化亜円礫が点在する。腐植物が混入する。含水量は非常に多い。粘性中位。		
8	32.95	2.10	9.45		礫混り砂 (S-G)	褐灰	中ぐらい		上部は径3～5mmの細礫が主体。含水量は多い。GL-7.6m以深は細砂～中砂が主体で、径3～5mmの細礫が混入する。白黄色の軽石片が散在する。		

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0－10	10－20	20－30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	1	2	1	4／30	4
1.45					
2.15	0／30			0／30	0
2.45					
3.15	1／20	1／15		2／35	2
3.50					
4.15	5	2	2	9／30	9
4.45					
5.15	1／20	1／15		2／35	2
5.50					
6.15	1	2	1	4／30	4
6.45					
7.15	1	1／15	1	3／35	3
7.50					
8.15	3	5	4	12／30	12
8.45					
9.15	7	5	7	19／30	19
9.45					

原位置試験

深度 (m)	試験名および結果

試料採取

深度 (m)	試料番号	採取方法

室内試験

掘進月日: 02/22